

地域とともにある学校・子ども応援団

東近江市	活動名：玉緒小学校地域学校協働本部	玉緒小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：28人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

6年「キャリア教育」

キャリア教育の一環として、将来就きたい仕事をしている方をお招きし、仕事内容だけでなく、仕事に対する思いや姿勢、その職業に至るまでの歩みについてもお話を伺った。事前に自分たちで調べてきた内容と、実際に社会で活躍する方々の「生の声」とが結びつくことで、仕事への理解が深まり、地域や社会と自分たちとのつながりを意識しながら、将来の姿をより具体的に思い描くことができた。



【 6年 キャリア教育(理容) 】

5年「お米博士になろう」

農業委員や田んぼの所有者をはじめ、多くの方々の協力を得て、田植えや稲刈り、脱穀といった米作りの体験学習を行った。地域の方々との関わりの中で学びを深めた後、お世話になった方々を招いて「たんぼのご感謝集会」を開催した。感謝集会では、収穫したお米でおにぎりを作り、支えてくださった方々と共に、感謝の気持ちを込めて収穫の喜びを分かち合った。さらに、米作りを通して学んだ成果を発表し、地域の方々に見ていただくことで、人と人とのつながりを改めて実感する機会となった。

4年「里山体験学習」

地域にある大森町の里山広場で体験学習を行い、自然に囲まれた環境の中で薪割りをしたり、切った木や枝を集めて秘密基地づくりに挑戦したりした。活動にあたっては、まちづくり協議会の方々丁寧に指導していただき、地域の方々との関わりの中で学びを深めることができた。学校の中だけでは得られない貴重な体験を通して、身近な自然の素晴らしさを実感するとともに、地域とのつながりの大切さにも気付くことができた。



【 4年 里山体験学習 】

■ 事業の成果・展望

- ・地域コーディネーターやまちづくり協議会の方々をはじめ、多くの皆様にご協力いただいたことで、学校だけでは出会うことのできない人材とのつながりや、貴重な体験活動を実現することができた。また、活動当日だけでなく、事前準備の段階から、担任だけでは対応が行き届かない点についても支援していただき、活動はたいへん充実したものとなった。
- ・参加して下さっている地域の方々からは、子どもたちが夢中になって楽しみ、笑顔で活動する様子を見守る中で、ボランティア活動に参加することへのやりがいを感じているとの声が聞かれた。
- ・今年度の取組を振り返り、来年度以降も継続して実施可能な活動内容を検討するとともに、地域コーディネーターをはじめ、ご協力いただくボランティアの方々へ、できるだけ早い段階で情報は提供や連絡が行える体制づくりを進めていく必要がある。

■ その他

玉緒小学校 HP <http://www2.higashiomi.ed.jp/tamasho/>



■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学年主任)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

「みんなとつながる（エニシカル）」今後もつながる活動を！

東近江市	活動名：御園小学校地域学校協働本部	御園小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成28年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:20人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他(御園地区まちづくり協議会)

■ 地域学校協働本部事業での主な協議内容と活動への反映

- ①各学年の地域学習や各教科における学習支援を実施している。
- ②外国籍児童が全校児童のおよそ一割程度在籍しており、多くの児童が日本語指導教室(ひまわり学級)での学習支援を必要としている。夏季休業・冬季休業期間中、外国籍児童を対象にして、地域のコミュニティセンターで学習サポート活動を実施している。



【 まち探検の様子 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ①3年生の総合的な学習の時間「こちの御園」のゲストティーチャーや、2年生の生活科「まちたんけん」の校外活動の支援、「みんなであつかうまちのしせつ」の見学、5年生6年生の家庭科手縫いやミシン製作の活動補助、週に一度の読み聞かせなど、多岐にわたる支援を受けた。
- ②地域の方(元教職員等)の協力を得て、日本語指導が必要な児童に対し、少人数で日本語学習や宿題等の学習支援をしていただいた。勉強のあとには、みんなで遊んだりおやつを食べたりして地域の方と楽しく交流した。また、伝統的な日本の遊びや、複数人でできる遊びをすることで、児童と地域の大人が交流する機会をもった。

■ 事業の成果・展望

学習支援によって、家庭学習の進め方がわからず困っている児童・保護者の助けとなるとともに、外国にルーツをもつ家庭と地域がつながるきっかけとなっている。長期休暇中の取組は生活のリズムを整える支援にもつながっている。今後さらに翻訳されたチラシを作成して保護者に配布し、活動の周知を図っていきたい。

多くのボランティアに来ていただくことで、学校の様子を地域の方々に知っていただいたり、教職員が地域を知ったりすることで、学校と地域がつながる機会となった。人との出会い、交流の場は相手意識を生み出し、深い学びへとつながる。さらに地域ボランティアとのつながりを深め、保護者にも呼びかけ、地域と協働した学校づくりを進めていきたい。



【 学習の様子 】

■ その他

東近江市立御園小学校ホームページ <http://www2.higashiomi.ed.jp/Misono/>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(日本語指導担当教職員)

報告書記入者(教頭)

「輝け南っ子!!」 ～地域を学ぶ、 地域の人々と学ぶ～

東近江市	活動名：八日市南小学校地域学校協働本部	八日市南小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：40人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 □地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 地域学校協働本部事業での主な協議内容と活動への反映

- (1)畑の先生による特別支援学級での植え付け作業
(じゃがいも、さつまいも、大根の収穫)
- (2)芝生化されたグラウンドでの芝生刈りや水やり、施肥などのお世話
- (3)南小学校読み語りグループによるスキルタイムでの読み語り
- (4)校外学習の引率ボランティア
- (5)大風保存会による大風作りの指導
- (6)図書室壁面の飾り製作、飾り付け
- (7)南部コミュニティセンターでの「みなみっこ学習会」
- (8)民生・児童委員さん、スクールガードさんなどによる見守り活動



【 かまどベンチでの焼き芋づくり 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・特別支援学級の畑では、地域の方がうねを作り、マルチをかけて植える準備をしてくださることで、スムーズな植え付け作業ができています。また、畑の専門家として、作付けなどのやり方を子どもたちに教えてくださることで、子どもたちが地域の方とつながりが深まりました。収穫したさつまいもは、学校ボランティアの管理のもと、かまどベンチを使って焼き芋にして食べた。
- ・読み語りでは、計画的に読み語りを行う学年のスケジュールを組むことで、学校ボランティアと多くの子どもたちがつながれるようにした。学校ボランティアは、各学年の発達段階に合った読み語りをしてくださった。
- ・主に2年生の活動である八日市南高校との交流や町探検等では、引率の補助をもらった。安全面への声掛けをもらいながら、学校ボランティアと子どもたちがつながる場となった。
- ・図書館の壁面飾りを前期と後期にそれぞれ2日ずつ来てくださり、作成や飾りつけをしてくださっている。年2回行われるため、季節に合った飾りつけとなり、子どもたちは季節の変化や飾りの変化を楽しんでいる。
- ・民生委員・児童委員と子どもたちの距離を近づけるために、始業式で民生委員や児童委員の紹介を行った。また2年生が、安全を見守ってくださっている方々への感謝の会を開くことで、日々の見守り活動の認知度と、感謝の気持ちを高めることができた。



【 壁面の飾りつけ 】

■ 事業の成果・展望

- ・芝などの環境整備に、地域の皆様の協力を得ることで、学校の学習環境がよりよくなっている。
- ・特別支援学級での栽培活動や大風作りなどに地域の先生に活躍していただくことで、地域と子どもたちのつながりが生まれ、子どもたちの学習意欲も高まった。
- ・今後どのような行事を残し進めていくか、また支えてくださる地域の方をどう広げ増やしていくのか、課題について検討し、内容を精査しながら、関係機関と相談して取り組んでいきたい。

■ その他

・地域学校協働活動推進員がコミュニティセンター館長のため、南部まちづくり協議会とスムーズな連携ができています。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(教頭)

子どもに笑顔と体験を！地域とともに歩む学校をめざして

東近江市	活動名：箕作小学校地域学校協働本部	箕作小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員数：1人 ボランティア登録数：67人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

6年 総合的な学習「大空にあげよう！ 私たちの大凧」

本地域の伝統である大凧の歴史や願いを込めた「判じもん」について学び、「東近江大凧保存会」の方に指導していただきながら、6年生で6枚の大凧を製作した。全校児童の「願い札」を貼り付け、保存会の方のご指導の下、グラウンドで大凧を揚げた。地域の伝統文化やよさ、保存会の方の思いをを考える学習となった。



【 大凧の釣糸調整 】

全校 読み語り活動(通年)

本校では、現在24名のボランティアが、毎週火、金曜日に読み語りに来てくださっている。年に一回、「読み語り座談会」を実施し、学校司書も交えて、子どもたちが目を輝かせる本選び等、熱心な情報交流を行っている。

今年度は、校内教育支援センターにも訪れ、全ての児童が読み語りを楽しむことができた。

学習支援

- ・1年 昔のあそび
- ・2年 町たんけん(太郎坊山・八日市図書館等)
- ・3年 校区たんけん(にんじん畑見学・御代参街道・くすのき・公共施設訪問等)
- ・3年 社会科「昔の暮らしについて」(洗濯体験)
- ・5年 田んぼの学習(田植え・苗の生育観察・稲刈り・脱穀・学習発表会)

学校行事支援、子どもの安全確保、見守り

- ・スクールガード活動支援、運動会準備及び後始末支援

学校周辺環境整備

- ・運動場の芝生管理および施肥作業、学校畑の整地作業
- ・みつくりンピックのテント設営協力



【 読み語り座談会 】

■ 事業の成果・展望

- ・6年生の大凧の学習では、大凧や「判じもん」の歴史を学ぶところから、実際に製作、凧揚げまで保存会の方と活動したことにより地域の伝統文化やよさ、保存会の方の思いをを考える学習となった。地域学習を進める中で、自分たちが住むまちへの関心と地域の一員としての自覚が高まったように感じる。
- ・地域の多様な専門性や技能を有する方々の参画を得て、安全面に十分配慮しながら教育活動を展開したことにより、子どもたちにとって質の高い学習機会を確保することができた。さらに、地域住民とのネットワークが広がったことで、地域資源や人的支援に関する新たな情報を得ることができた。
- ・継続的にボランティアに来てくださることで、子どもたちと地域の方とのつながりが深まってきている。また地域の方からは、「子どもから元気もらっている」などと肯定的なご意見をいただいた。今後も、「地域に開かれた学校」として連携を一層強化し、地域と協働する取組のさらなる充実を図っていきたい。
- ・活動のねらいを明確にし、教職員、地域学校協働活動推進員、ボランティアが共通理解を図ったうえで役割を分担し、連携して取り組むことが、活動の成果を高めるうえで重要である。
- ・長年にわたりボランティアとして関わってくださっている方が多く、常に惜しみない協力を賜っていることに深く感謝している。一方で、教職員の入れ替わりが多い現状においては、これまで培われてきた地域教材や地域の貴重な人材とのつながりを、組織として確実に引き継いでいくことが大きな課題となっている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 ■その他(全教職員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員・教頭)

みんなが楽しい！八日市北小学校

東近江市	活動名：八日市北小学校地域学校協働本部	八日市北小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：約100名 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

日本語指導教室(にじ教室)には、日本語を話したり、理解したりすることがまだまだ難しい、外国にルーツのある児童が多く在籍している。文化や生活様式が違う日本での生活に戸惑うことも多い現状はあるものの、にじ教室には、担当教員だけでなくボランティアが常時いてくださることで、子どもたちにとって安心できる居場所となっている。

にじ教室に通っている児童同士がつながることはもちろん、普通学級においても友達ちとつながるきっかけになったり、地域の方とつながったりする架け橋となっている。



【 にじ教室の様子 】

■ 事業の成果・展望

様々な活動で、多くの大人の目があることで、安心安全に活動を実施することができた。

読書ボランティアが普段の読み聞かせとは別に、年2回の特別なお話を開催している。お話を開催するにあたり、2回ほど打合せや準備をしてくださるが、回数を重ねるごとにボランティア同士が仲良くなり、楽しい雰囲気の中でお話会の準備を進めることができています。

総合的な学習の時間をはじめ、探究的な学習では、地域教材を活用することが不可欠となっている。現在も、2、3年生の町たんけんや5年生のたんぼのこ体験事業、6年生のキャリア教育などで、地域に根ざした授業を展開しているが、今後は、さらに地域のよさを子どもたちが感じられる活動を実施していきたいと考えている。



【 5年 しめ縄づくり 】

■ その他

- ・地域人材の多様な募集に取り組む中で、ボランティアのすそ野は着実に広がりを見せている。一方で持続可能な組織体制の構築という観点からは、なお改善の余地があると感じている。
- ・毎年、6年生のキャリア教育の一環として、地域人材をゲストティーチャーにお招きし「夢訪問」を実施している。活動内容は年々充実し、質の向上も見られるなど、本校の特色ある取組として定着しつつある。一方で、十分な謝礼をお支払いできない状況にあり、場合によっては材料費等のご負担をおかけしていることに、心苦しさを感じている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学級担任、教務部)

報告書記入者(教頭)

「地域の子どもは地域で守る・育てる」～つながる地域と学校～

東近江市	活動名：八日市西小学校地域学校協働本部	八日市西小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：250人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校評議員会での主な協議内容と活動への反映

学校評議員会では学校の取組について、ご自身の子育て経験や今までの体験などをもとに意見交流があり、その中で、遊びの中でたくさんのことを身につけてきた経験から、子どもたちにも遊びの中でいろいろなことを身につけてほしいことや、小学校の思い出をたくさんつくってほしいということが語られた。

たんぼのこ体験事業をはじめ、校区めぐりや農家・工場見学など様々な体験を通して、地域のよさを発見したり、気づいたりしてほしいこと、さらには郷土愛を深めることにつながってほしいとの意見があり、体験活動へのサポートに力を入れていきたいと語られていた。



【 田植え 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

5年生の「たんぼのこ体験事業」は特に中心的な体験となる田植えと稲刈りは屋外での活動ということもあり、JAの方をはじめ多くのボランティアに参加いただいた。

また、田植えや稲刈りにかかわってくださった方を招いての収穫祭では、子どもたちがお米にまつわることについて調べ、発表会の場とし、学んできた成果を発表した。

6年生の地域学習では、地区内の史跡をめぐる際に、地域ボランティアからお話や説明をいただき、学習を深めることができた。持続可能な学校づくりの一環としてグラウンドの芝生化に取り組み、その後の管理は、地域住民有志による芝生ボランティアにより、芝生の維持管理を行っている。

学校ボランティアをはじめとする様々な地域住民の行動や人格にふれることで、児童は成長していく。次年度も教育活動に無理なくボランティアの支援を取り入れ、地域学校協働活動を推進していきたい。

■ 事業の成果・展望

地域学校協働活動推進員と学級担任等が事前に十分な打合せを行い、活動のねらいや役割分担を共有したことにより、学校ボランティアから効果的かつ円滑な支援を受けることができた。その結果、ボランティアに関わっていただく機会も増え、児童にとっては地域の方々と直接触れ合いながら学ぶ貴重な体験な場となり、学習内容の充実だけでなく、地域とのつながりを実感する機会にもなった。

学校ボランティアの高齢化が進んでおり、今後の担い手の確保は大きな課題となっている。これまでの活動の質や水準を維持・発展させていくためにも、学校から地域学校協働活動の意義や成果を積極的に発信し、幅広い世代の理解と参画を促していく必要がある。また、地域から学校への支援にとどまらず、児童が地域行事やボランティア活動に参加するなど、学校と地域が相互に関わり合う双方向の取組を推進していくことも重要である。



【 地域の史跡にて 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学級担任等)

報告書記入者(校長)

地域の力を学校へ！ ともにあゆむ「布引っ子応援団」

東近江市	活動名：布引小学校地域学校協働本部	布引小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：26人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

3年生「地域の魅力発見を目指した町たんけん」
 → 6月～11月 各地区での地域の方の説明・講話

5年「田んぼの学校」
 → 5月 田植え体験
 → 5月～ 水田・水田の生き物観察
 → 9月 稲刈り
 → 11月 地域の方を招いた学習発表会

6年生「伝統の思いを受け継ごう」
 → 大町保存会の方との関わりを通じた学習



【 3年生 町たんけん 】

■ 事業の成果・展望

学習過程や活動に地域の「素材」を教材として組み込むことにより、児童は身近な地域に関心をもつ態度が高まった。そして、地域学校協働活動推進員の適切なコーディネートによって、学習過程に地域の方を効果的に関連付けることが実現し、児童の探究的な学びの実現への一助となった。それは、地域に生きる方の話には、文献やインターネットによる調査では得られない興味深く、詳しい情報があつたからである。

しかし、それ以上に地域の方の様子から、児童は地域を大切に思う気持ちを実感していたようである。このような一連の学習を通して、地域に対する愛着を深めたり、地域に誇りをもったりする児童の様子が多く見られたことは、本事業の大きな成果と考える。

上記のような学習の実現にあたって、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の存在価値は非常に大きい。地域を知る地域学校協働活動推進員が学習に関わる地域の素材(教材)と精通している方を探し、そして学習とつないでくださった。それは、子どもたちの学びの側面に限らず、教職員の働き方改革の側面からみたいへん有効であった。

今後においては、地域学校協働本部の活動について、地域や保護者への広報活動を充実させながら、支援・協力して下さるボランティアの継続性をいかに高めていくかが課題である。



【 5年生 田植え体験 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(各担任)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

地元を知り、地元を語り、地元を愛せる人づくり (市原小学校)

東近江市	活動名：市原小学校地域学校協働本部	市原小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 25 年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:約 80 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域学校協働本部事業での主な協議内容と活動への反映

・ボランティア会議を月1回開催(校長・事務職員・地域コーディネーター・元地域コーディネーター)
→ボランティア関連活動の計画および実行

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- 図書ボランティア
 - ・読み語り 読書祭りイベント 読書環境づくり 工作教室
- 町探検
 - ・2・3年生の町探検引率(2年:グラウンド・公園・駐在所) (3年:地域農家見学・神社・寺)
- 家庭科学習支援
 - ・3年生の豆腐づくり
 - ・5・6年生の調理実習・裁縫、ミシン
- たんぼのこ体験事業
 - ・5年生の田植え しめ縄づくり 学習発表会
- 音楽学習支援
 - ・4年生の江州音頭体験 和楽器鑑賞
- 地元学習
 - ・1・2年生の昔遊び交流
 - ・3年生の「市原地区 PR 大作戦」
 - ・3・4年生の総合学習「市原学区の安全を守りたい」
 - ・地元地図作り
- その他学習
 - ・絵手紙教室 漢検補助員
- 環境整備
 - ・木の剪定 花壇の整備 草刈り
- 子どもたちの安全
 - ・マラソン大会見守り SG や大学生 下校見守り SG
- 地域への周知
 - ・コドモン学校ブログ作成 地域連携広報「風の広場」作成



【 図書ボランティア 読書まつり 】



【 3年生 市原学区 PR 大作戦 】

■ 事業の成果・展望

○成果

・「学校ブログ」や広報「風の広場」、学校だよりの発行を行うことにより、保護者・地域住民へ活動内容を周知し、協力を得ている。
 ・地域と連携した多様な交流活動を継続してきた成果として、児童は活動を通して得られる知識や経験にとどまらず、人と関わる力や相手を思いやる心を着実に育んでいる。その成長は、学校生活や地域での暮らしの中で自然なあいさつや温かな言葉のやり取りとして表れており、地域との絆を一層深め、地域や学校全体に明るさと活気をもたらしている。また、地域と協働して活動を進める過程は、若手教職員にとっても実践的な学びの場となり、OJTとしての効果も上げている。

○展望・課題・工夫

・展望:地元を知り、地元を語り、地元を愛せる子どもたちを育てていきたい。
 ・課題:ボランティアの高年齢化・限定化・引退、少子化
 ・工夫:ボランティア募集の案内を行い、幅広い層にボランティアとして参加していただく。
 ・工夫:学校と地域がともに成長していく活動になるよう熟議を重ねる。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員(事務職員) ■その他(学級担任)

報告書記入者(校長)

地域の自然・人材を生かし『もっと永源寺が好きになる！』山小っ子の育成

東近江市	活動名： 山上小学校地域学校協働本部	山上小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成29年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:24人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域学校協働本部事業での主な協議内容と活動への反映

子どもたちが主体的に活動できるように支えながら、住んでいる地域について学び、親しみや愛着が持てるような取組ができるようにする。

新たな人材を見つけ、子どもと教師がより広く深く地域について学ぶことのできる環境づくりに努める。



【 6年生:永源寺の里山体験 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

【6年生 地域学習「永源寺の里山体験」】

里山体験を通して、永源寺の豊かな自然について学び、その自然と上手に関わっていく方法を知ることができた。また、郷土を誇りに思いながら活動している人々の姿にふれ、自分たちの生き方にもつなげていく活動を行うことができた。

【4年生 総合な学習の時間「国際理解:ラチーノ学院の子どもたちとの交流」】

ラチーノ学院では、名刺交換・ドッジボール・国旗のかるたなどを行い交流した。地域コーディネーターとともに学習の計画を立て、調整を行った。子どもたちはモチベーション高く、主体的に学びに向かうことができた。



【 4年生:ラチーノ学院の子どもたちと交流 】

■ 事業の成果・展望

子どもたちは先人が守り続けてきた里山が、自然を守ることや人々の暮らしを支えるうえで大切な役割を果たしていることを学んだ。また、活動を安全に行うために、実施する時期や引率する人数、事前学習の内容などをもう一度見直す必要がある。

ボランティアの高齢化を考え、新たな人材や機会を見つける工夫をしながら、学校として発信していかなければならない。

■ その他

本校では地域ボランティアの力をお借りして、里山体験のほか、永源寺散策、永源寺ダムの見学、奥永源寺の自然、愛知川・和南川の水質や生き物の調査等を実施している。子どもたちが自分たちの住む地域を深く知り、体験することを通して、郷土愛を育てたいと考えている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

【地域の方に支えられて、地域とともに学び・育つ学校】～自分よし・みんなよし・未来よし～

東近江市	活動名：五個荘小学校地域学校協働本部	五個荘小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：約30人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他[クラブ活動の実施]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・引き渡し訓練について
- ・おさかりおゆずり会について
- ・夏休み勉強会について
- ・学校の働き方改革への寄与について(プール掃除ボランティア等)
- ・家庭教育支援について
- ・学校行事(運動会)の支援について
- ・子育て応援カフェについて



【 R7 初実施！
プール掃除ボランティア 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

参観日にあわせて、学校運営協議会を設置した学校(以下、CS)の企画で、校内の一室に「親カフェ」を設け、保護者が気軽に子育てについて話せる環境づくりをした。CSのメンバーもカフェに集い、ファシリテーションをしながら、来てくださった保護者の話に耳を傾けてくださった。

地域連携担当教職員の誘いで、PTA 本部のメンバーも何名か集い、CS 委員との会話が生まれた。本校の CS 委員には PTA 役員はいないが、PTA の本部会議と合同で学校運営協議会を開催することで効果的な実践ができそうだと話題が出て盛り上がった。合同会議は、まだ開催していないが、このつながりを生かしていきたい。

■ 事業の成果・展望

- ・学校に地域の人に関わることが、より自然になってきていると感じている。
- ・地域連携担当教職員が地域側のコーディネーターと真に調整をすることで、「かける時間と教育的効果」を再検討し、取組の精選が進んできた。
- ・地域連携担当教職員は、学年の教師のニーズをしっかりと把握し、地域コーディネーターと懇談することが必要だと感じている。
- ・文部科学省の方針では、「学校運営協議会」が、教職員の働き方改革を進めるカギとされており、機能させていくことが必要であるが、CS での協議はなかなか進んでいない。もう一歩踏み出して、学校の改革ができるような実践を創出していきたい。
- ・学校運営協議会と PTA の連携が進み、学校を取り巻く資源が有機的につながり、子ども・保護者・教職員がウェルビーイングを感じられる学校・地域づくりを目指していきたい。

■ その他

地域の方にお世話になり、クラブ活動を実施しており、茶道・生け花クラブ、太鼓クラブがそれに該当する。年間 10 回程度で、金曜日の6時間目がクラブの時間である。

茶道では、お茶の入れ方などを通して地域の方から作法を学んでおり、茶菓子も地域に昔からある和菓子屋さんのものを使っている。

太鼓クラブでは2名の地域住民が関わってくださっており、うち1名は家庭教育支援員でもあり、児童理解を深めるよい機会にもなっている。この取組が継続できているのも、地域のボランティアのおかげである。

また、クラブだけに限らず、本校を卒業された方が講師として出前授業に来てくださり、子どもたちの学びが活性化している。



【 五個荘小出身の方による
和太鼓講座 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(主幹教諭・各教職員)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

地域とつながる学校づくり 「親子で学ぶ 楽しい未来への一歩！」

東近江市	活動名：愛東南小学校地域学校協働本部	愛東南小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：28 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 □地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

どの学年においても、「学校と地域のつながり」、「子どもと地域住民のつながり」等の様々な生み出すために、積極的に声がけし、協力してもらうことができた。

- 地域学習： (2年)町たんけん(支所、図書館、マーガレットステーション)
(3年)ブドウ、イチゴ、メロン、ネギ、お茶農家さんの見学
(3年)昔のくらしの話
(4年)地域教材(青山井)の見学と解説
(4年)地域の神社の祭りの解説
(4年)過去に学区で起こった災害についての話
(6年)愛東の歴史の話
- 体験活動： (1年)昔遊び(コマ、紙飛行機、紙鉄砲)の指導と支援
(3年)菜の花栽培(植付、世話、刈取)の指導と支援
(5年)米づくり(田植え、稲刈り、脱穀)の指導と補助
- 学習支援： (5年)家庭科でのソーイング実習・ミシン実習補助
- 全校読書活動： 読書ボランティア「ブックんの会」による読み聞かせ、お話会の開催
- 安全見守り活動：登下校やマラソン大会等で危険箇所へ安全見守りのための立哨、交通安全教室での指導



【 1年 昔遊び 紙鉄砲づくり 】

■ 事業の成果・展望

- 地域住民で活動されている読書ボランティアグループ「ブックんの会」による読み聞かせは、数十年前から継続的に取り組んでいただいている。毎週火・木曜日の昼の活動に位置づけ、子どもたちの読書の習慣化や質の向上につながっている。今年度は、「戦後 80 年」をテーマにした題材でのお話の会を実施していただき、子どもたちは、戦時中のできごとを知り、6年生は歴史学習の資料として、また他の学年の子どももこの地域の様子に対する意識の向上につながった。
- 地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域の人から学ぶ活動を通して、郷土愛の育成につながっている。子どもたちは、自分たちで調べ、学んだことや考えたこと、実践したことをまとめ、我が校の伝統行事として続いている 11 月の「くすのきまつり」において、保護者や地域の方々、招待したゲストティーチャーの方々に向けて、自信をもって発表することができた。
- 地域学校協働推進員と教職員が打合せをする時間を定期的に設定し、学校支援の年間の見通しを共通理解できるように心がけた。また、その際に学校側のニーズを伝え、学習内容に合わせた人材確保に向けて動いていただいた。継続的に地域との連携が取れるようにしていくためにも、体制づくりを整えていく必要がある。
- 地域学校協働活動について、学校日より等で保護者や地域へ幅広く発信している。今後も広報活動をより充実させ、新たなボランティアや地域での人材発掘を進める。



【 ブックんの会による読み聞かせ
「戦後 80 年」 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(教頭)

地域の未来を担う子どもを育て「地域と共に歩む学校」をめざして

東近江市	活動名：愛東北小学校地域学校協働本部	愛東北小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：約40名 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

①5年生「たんぼのこ」体験学習

(農)アクティブファーム百済寺の皆様のご協力を得て、たんぼの借用及び稲の管理などを含めてお世話していただいている。学校の敷地に近い場所にたんぼをお借りでき、いつでもたんぼの様子を観察できるようになっている。また、稲の生育状況に合わせて、何度も繰り返し児童の疑問に答えていただける機会を多く作っていただいた。

田植え、稲刈りの体験学習の際には、地域ボランティア、農業委員、JAの皆様にも加わっていただき、田植えや稲刈りの仕方を丁寧に教えていただいた。

当初は、汚れることを気にしていた児童は、地域に住む方々の声掛けのおかげで泥だらけになって田植えをし、最後には満足した顔で「楽しかった」と話していた。農村地区であるとは言え、普段なかなか体験できない児童も多く、地域の方々の声掛けのおかげで、意欲的に取り組むことができた。

児童が教科書で学んだことはもちろん、実際に田植えや稲刈りを体験したり、田植えや稲刈りの間に代掻きや農薬の散布等について自分の目で実際に見たりすることを通して学んだことをまとめ、田植えや稲刈りでお世話になった方々に、米作りの担い手の不足や米の消費の減少など、農家が直面する喫緊の課題について自分事として捉え、未来の農業がよりよく発展するように願う自分たちの考えや思いを伝えることができた。



【たんぼのこ 稲刈り】

②ミシンボランティア

愛東北小学校では、ミシンボランティアとして、主に5年生を対象にした家庭科でのミシンの扱い方について児童の支援をしてくださっている。

学習する時期に合わせて児童3～4名に1人の割合でミシンを扱う際の補助をしてくださっている。ボランティアはいつも笑顔で接して下さり、児童の学習について、先回りして何でもしてしまうのではなく、失敗しても見守って下さったり、児童が自ら解決できそうなことは、手を出さずにいて下さったりと、絶妙なタイミングで児童と関わりをもってくださっている。

温かい雰囲気ですべて児童に接していただけるために、児童もミシンボランティアに親しみをもって接している姿が見られる。



【ミシンを扱う際の補助】

■ 事業の成果・展望

成果

○地域の方々がボランティアとして参加して下さるのおかげで、児童のこともより理解して下さっている方々に学習を見ていただけるため、児童への声掛けが適切で学習効果の向上がより図られているように感じている。

○ボランティアも児童との触れ合いに喜びを感じており、ボランティアの適切な支援によって児童の学習効果も上がっていることもあり、双方にとってメリットが大きい。

展望

○児童が地域の方とつながり、よりよく地域の一員として育つことのできるように地域コーディネーターと連携を図る。

○地域の方々の思いを大切にしながら、より連携を深め、ともに地域に生きる児童として力が伸びるように努める。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学級担任)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

「地域の教育力を取り組むために」—地域の人々から学び、そのよさや歴史を知る学習—

東近江市	活動名：湖東第一小学校地域学校協働本部	湖東第一小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[夏休み子供の居場所づくり・湖東地区社会見学]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(湖東地区まちづくり協議会)

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

・木育教育「くむんだー」にふれる3年生の社会科まち探検

東近江市湖東地区には伝統的木組み工法による建築を生業とする人たちが、いわゆる大工さんが少なからずいる。中にはこの地域で宮大工として古来よりの伝統的技術を引き継いできた人たちもいる。しかしながら、生活様式が変わり、その建築物も大工さんの数も減りつつある。そこでその木の文化・伝統を守るために、また木の良さを子どもたちが体験的に学ぶために、木製ジャングルジム「くむんだー」が考案され、当地はその発信地となっている。

そこで、3年生のまち探検で匠の里と称される今在家町を訪れた。社寺建築の工法で作られた重厚な公民館を見学し、その後木槌を手に、「くむんだー」を組み立てた。木の肌触りや匂いそして木目の美しさ、さらには木槌のリズムよい音までも、全身で感じ取ることができた。

この他、本校ならではの学校と地域のつながる特徴的な活動を挙げると以下のとおりである。



【 木製ジャングルジム「くむんだー」 】

・昼休みお話し会(夏編、秋編)

朝の読み聞かせ活動に加えて、昼休みの時間を利用して年2回のお話し会を行っている。毎回テーマを設けて開催し、朝の短時間ではこなせないお話やペープサート、ブラックシアターなど、読書が好きな子どもを育てるために工夫を凝らしたお話し会になっている。これは湖東図書館を核とした読書のあるまちづくりを目指す地域の人たちに支えられている。

・夏の校内研修(教職員の湖東地区理解)、夏休み湖東地区再発見(湖東地区社会見学)

本校の総合的な学習の時間は地域学習に取り組んでいるが、まず教職員が地域理解を深めるための現地研修を夏季休業中に実施している。一方、湖東中校区のコーディネーターと協力して高学年児童を対象に参加を募り、地域理解のための社会見学(工場、各施設等)を行っている。この取組は学校では十分に取れない時間を確保して、より地域のことを知り地元への愛着のある子どもを育てるためである。

■ 事業の成果・展望

3年生のまち探検では人々の営みや暮らしが見えるまち巡りを意図している。そこに生きる人たちの姿や生業を見て、自分のまちのよさをつかんでほしい。その意味で「くむんだー」を通して、この地の木の文化を守ろうとしている人々の願いに触れることは意味深かった。その後も、地域で行われる木育活動に参加する姿が見られ、地域とのつながりも深まっている。

また、この地域のよさは住民が学校に対して惜しめない協力を寄せてくださる点にある。恒例となってきた昼休みお話し会も、当初は読書ボランティア自らが発起人として始められ、自主的に計画・実行されてきた。この活動は、前述した地域の人たちの思いが反映されている。今後もこのような人たちの思いをつなぎ、活動の更なる活性化を図っていく。

少子化が進むこの地域の現状にあって、子どもたちがここで育つだけでなく、ここに住み続けてまちの将来を担うようになってもらいたい。そのためにさらに地域のよさや魅力を知ってもらうための地域学習を深めていきたい。学校での地域学習はその基本となり、湖東地区再発見の社会見学などもその一助となるよう企画している。そして、地域と学校が連携することで、将来のまちづくりにつながっていく教育活動を目指したい。



【 くむんだーを組み立てる様子 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(湖東中校区内の地域学校協働活動推進委員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

湖東地区に誇りをもてる活動

東近江市	活動名：湖東第二小学校地域学校協働本部	湖東第二小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：25人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

①地域行事(まち協主催の夏の居場所事業)への参加によって他校の児童とつながりが生まれた。
また長期休業中の児童の居場所づくりができた。

②雅楽教室(地域コーディネーターによる雅楽演奏。)



【 雅楽教室 】

■ 事業の成果・展望

・ボランティア(地域で学校を見守ってくださる人)と知り合いになり、大人と子どもがつながる。

暗唱ボランティア……子どもたちが計算や九九を暗唱し、聞いてもらうのを楽しみにしていた。知り合いになったボランティアに聞いてもらうために、なお一層暗唱を頑張ることができた。

・お店の秘密を調べよう…地域の料理屋さんにご協力いただき、仕事の難しさややりがいなどについて調べた。ご厚意で実際に作業をさせてもらい、仕事に触れさせてもらうことができ、印象深い学習になった。

・新規ボランティア発掘は年々難しくなり厳しい状況にある。

・地域学習を受け入れてくださる店舗の減少が著しく危惧している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他()

湖東地区に誇りをもてる活動

東近江市	活動名：湖東第三小学校地域学校協働本部	湖東第三小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：26人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が連携・協働した活動(特徴的な活動)

- (1)1年生の「秋みつけ」、2年生の生活科「まち探検」、3年生の社会科「地域学習」など、子どもたちが地域に出かけ、いろいろな人とのふれあいを通して地域のよさを感じるとともに、各学年の教科の狙いを達成するために効果的な学習を展開した。
- (2)読書ボランティアグループ「あめんぼ」の活動は定着し、子どもたちも読み語りやパネルシアターを楽しみにしている。
- (3)「夏の居場所作り」では、湖東地区小中学校のコーディネーターが連携して取り組んだ。中学校では「湖東の歴史を知ろう！」の学習でコーディネーターの出前授業を実施した。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○6年生の総合的な学習の時間「湖東の未来を考えよう」の学習では、地域の方をゲストティーチャーに招いた。その中で「農業の今を考える」と題し、農業を営まれている方から、地域の特産物を作る苦労や、そこへかける思いなどを語ってもらうことで、地域の農業について知ることができた。さらに自治会長さんから、地域の人口動向などについての話をお聞きし、自分たちの地域を考えることができた。

○5年生の「田んぼの学校」の学習では、地域の方に田んぼをお借りし、田植えや稲刈り等の体験をさせていただいた。稲刈りを予定していた日が30度を超える猛暑であったが、日よけのテントを立てていただくなど子どもたちの健康に対する配慮をいただき、安全に実施することができた。

○1年生の「秋見つけ」では、グランドゴルフ場のスタッフの全面的な協力を得て、木の実を拾ったり、おもちゃ作りをしたりする活動を実施することができた。

○第50回校内相撲記念大会では、地域の有志が「湖東第三小学校の相撲大会を盛り上げる会」を組織し、大相撲の力士の招聘を実現させた。また、湖東第三小学校創立150周年事業を実施するにあたっては、地域で「湖東第三小学校創立150周年実行委員会」を組織し、ドローンでの空撮、イルミネーションの設置、バルーンリリースの実施など学校と地域が一体となった行事を実施することができた。



【6年生が藤岡さんから学ぶ「農業の今を考える」】



【『すこやか森 G.G 場』での秋みつけ】

■ 事業の成果・展望

○読書ボランティアやその他のボランティアなどが、1、2年生の「まち探検」で、見守り応援参加も得て、他の活動へと広がりを見せた。

○1年生の生活科では、「秋みつけ」や「むかしあそび」で、「湖東地区グランドゴルフ連盟」との連携が定着した。

○『愛知県とともに』を発行し続けている成果として、地域とのつながりがより深くなり、激しく変貌する本校周辺の地域に関する理解も進んでいる。

○創立150周年を機に地域の方に、小学校の活動に関心を持っていただくことができ、様々な行事への協力も仰ぐことができた。今後に向けて、地域の学校として長く愛されていくことができるように、地域とのつながりを大切にしていきたい。

■ 事業実施上の課題と今後の連携・協働活動実施に向けて

○コーディネーターと各担任の連絡調整には放課後のわずかな時間しかない。限られた時間内で、効果的な学習となるような仕掛けとヒントを共有できるようにするためには、工夫と機軸がさらに必要である。

■ その他

○本校の創立150周年記念行事では、まち探検や3年生の「昔の生活を知ろう」の学習に、10年以上貯わって得た資料とノウハウで、地域コーディネーターとして『湖東第三小学校の150年を知ろう』というパワーポイントでの発表も活かせた。



【創立150周年記念行事「湖東第三小学校の150年」】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域種別担任教職員 ■その他(該当する各担任)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

子どもたちにとって安心・安全な居場所づくりをめざして～人とのかかわりを大切に～

東近江市	活動名：能登川東小学校地域学校協働本部	能登川東小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：83人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

協議会3年目がスタートし、地域学校協働本部事業と連携しながら、地域と子ども・学校をつなぎ、子どもにどんな力をつけていきたいのか、そのために家庭や地域がどうかかわっていくとよいのかを考えてきた。「子どもの安全」に関わり、登下校時の安全確保や夏場の熱中症対策等について熟議を重ねた。登下校時の安全確保については、各地区における危険箇所を共有し、それに向けた安全対策の設置を市へ要望することやパトロールボランティアへの加入を呼びかけていくことを確認した。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

【環境整備】

前庭の剪定作業・花壇の整備をしている。きれいな庭・花壇により、子どもたちや来校した地域の方が気持ちよく過ごすことができている。学習環境としては、家庭科の授業環境を整えた。ミシンの使用単元に入る前にメンテナンスを行った。修繕や調整をし、どのミシンも使えるようにした。また、今年度の調理実習前に家庭科室の清掃・準備をした。食器や調理器具を丁寧に洗い、消毒することで子どもたちが安全に調理をすることができた。

【学習支援】

図画工作科での電動ノコギリを使う作業の支援をした。一台に一人が担当し、電動ノコギリの操作や切る物の固定の仕方を丁寧に伝えることで安全に作業することができた。また、家庭科の調理支援では、包丁や電気調理器の扱いを多くの人で見守ることで安全に調理をすることができた。

【ゲストティーチャー】

地域の人から直接学ぶ学習や交流体験学習を大切にしている。1年生・2年生では、生活科の学習で夏野菜やサツマイモの苗植えの支援をした。畝の役割や植える場所、苗の扱い方を教えると子どもたちは、質問をするなど大変意欲的に取り組むことができた。6年生では能体験学習を行い、伝統文化を学んだ。能の歴史や話の内容について学んだり、実際に面を顔につけさせてもらったり、目の前で演じてもらったりして、大変貴重な体験となった。また、6年生のキャリア教育のゲストティーチャーとして地域の方に参加してもらい、仕事について学んだ。調理師・薬剤師・大工・美容師の方々から直接話を聞き、自分の未来について考えるよい機会となった。



【 野菜の苗植え 】



【 能体験学習 】

■ 事業の成果・展望

毎年、たくさんの方にボランティアとして協力してもらうことができ、充実した教育活動を行うことができている。今年度も新たに登録をしてくださったボランティアの方もいる。これからも子どもたちが安心・安全に充実した学習ができるようにどんな活動ができるのか考えていきたい。学校がめざす子ども像との関連は明確にしたい。教育活動の中どのよう位置づけて、活用・運用をしていくのかは熟議が必要である。これからも地域の人とつながり、連携し、人から学ぶことを大切にしていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他(担任等)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

地域と共に「郷土を愛し ころ豊かでふるさとを大切に子」をめざして

東近江市	活動名：能登川西小学校地域学校協働本部	能登川西小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：約60人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

(1) ふるさに学ぶ

1年生「昔遊び」、2年生「町たんけん」、3年生「ふるさとたんけんたい」「名人に学ぶ」、5年生「みずっこ調査隊」、「お米パーティー」、6年「ゲストティーチャーに学ぶ」(キャリア教育)の実施

地域の自然や歴史を学び、活躍されている方の話を聞いて地域に愛着や誇りをもつことができました。

(2) マラソン大会見守りとさわやかロードボランティア

マラソン試走日とマラソン大会(今年度中止)で、校外コースでの児童の見守りをお願いした。声援を送りながら見守りをしていただき、子どもたちの励みにもなった。朝の交通立番やあいさつ運動にも協力いただき、日々の安心安全につながっている。

(3) 学習支援

5、6年生での家庭科裁縫の学習の補助、ミシンの学習補助、図画工作科の糸鋸作業の補助に入っていただき、安全にかつスムーズに作業を進めることができた。

1年生での昔遊び体験や3年生での名人に学ぶでは伝統的な遊び、わらじづくり、竹細工などを体験することができ、地域の方ともふれあう良い時間となった。

(4) 図書読み語りボランティア

朝の読書の時間に読み語りをしていただいた。毎回、子どもたちは楽しみにしていた。今年度は英語の本の読み語りも実施していただいた。

(5) 校地環境整備作業および園芸ボランティア

児童とともに作業をしていただいた。校地をきれいに管理していただくとともに自然の恵みに触れる大事な経験ができた。



【 町たんけん 】



【 ゲストティーチャーに学ぶ
キャリア教育 】

■ 事業の成果・展望

○ボランティアの高齢化に伴い、担い手となる人材は減少傾向になるという課題がみられる。一方で地域コーディネーターの調整力とネットワークに支えられ、限られた人材の中でも役割分担や新たな担い手の発掘が進み、事業は持続可能な形で実施することができている。

○地域の方々との継続的な交流や協力を通して、子どもたちは自分の住む地域の歴史や文化、人々の思いに直接触れる機会を得ている。その中で、教科書だけでは得られない「ほんもの」に出会い、心を動かす感動体験を重ねることができている。こうした体験は、自分たちのふるさとをより深く知るきっかけとなり、地域を誇りに思い大切にしたいという気持ちを育てている。さらに、多様な世代の方々に関わる中で、支えられている自分に気づき、今度は自分も地域のために役に立ちたいと考える子どもが増えてきていると感じている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学級担任)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

ふるさと能登川大発見！

東近江市	活動名：能登川南小学校地域学校協働本部	能登川南小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：160人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

(1)「全校猪子山活動」

全校児童が本校近くにある猪子山を身近な教材として、全学年が年間を通して学習活動に取り組んでいる。

また、全校で、「猪子山活動の日」を設定し、以下の4つのめあてのもと、たてわり班ごとにコースを相談して決め、フィールドビンゴやクイズに答えながら協力して猪子山に登頂する活動に取り組んでいる。

①「四季折々の美しさを見せる猪子山に関わることで強度の自然の豊かさを体感し、身近な地域の自然を大切にしようとする態度を養う。」

②「猪子山活動を通して郷土の歴史や自然の豊かさに気づき、地域について積極的に学んだり関わっていきなりする態度を養う。」

③「たてわり班で協力して、計画を立てて役割を分担し、みんなで仲良く活動に取り組むことを通して、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築を目指す。」

④「活動を支援してくださっている方々への感謝の気持ちを養う。」

活動には、保護者や地域のボランティア、地域の有識者等、多くの人たちにご協力いただき、楽しく充実した活動を行うことができている。



【 全校猪子山活動 】

(2)「福祉体験活動」

各学年の発達に合わせて福祉について学習している。5年生では、総合的な学習の時間を使って「車いす体験」を行っている。社会福祉協議会や地域の方のご協力のもと、実際に車いすを押したり、乗ったりする体験を通して、障害のある方やそのサポートを行う方の気持ちを共感的に理解し、望ましい行動について考えることができるように活動を行っている。



【 福祉体験学習 】

(3)「学習支援活動」

各学年の地域学習や能登川プールでの水泳学習への引率については、安全面を十分考慮し、以前よりもボランティアの数を増やして活動を実施した。そのため依頼するボランティアの数が増えたが、快く引き受けてくださる方が多くて助かった。活動内容によって、ボランティアの選定を考慮することも行ってきた。

■ 事業の成果・展望

学校や学年の学習活動に合わせて、地域の方からボランティアの協力を得る機会が増えてきている。子どもたちは、地域の人たちとのふれあいを通して学ぶことも多く、学習内容に合わせた支援や校外学習等での児童の移動に係る安全確保のためにご協力いただき、成果をあげることができている。また、子どもたちは、地域の方に対する感謝の気持ちを深めることができている。

今年度は、特にボランティアの高齢化を考え、少しずつ若い年齢層にも声を広げながら、活動に参加してもらうことができた。また、学校では各学年の「ふるさと学習」を見直し、地域学習の充実を図りながら、ボランティアの登録体制についても整えるための取組を始めることができた。

今後、いかに地域と連携した活動を取り入れ学習効果をあげるか。学校と地域との新たな連携・協働の在り方を探っていくことも必要だと考えている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(各活動担当)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

地域と共に歩む学校「くりみっこ」

東近江市	活動名：能登川北小学校地域学校協働本部	能登川北小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：27人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 □郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他(学区地域教育協議会)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

第1回の運営協議会では、学校長より今年度の運営方針を説明し、子どもたちが主体的に学習できるように、学校の運営について協議した。また、学校に対する要望を伺い検討をした。2回目の会議では、学校評価を受けて学校運営について振り返り、今後の活動や行事について共有した。地域と家庭と学校で、どんな子どもを育てていきたいかを共有することで、たくさんの人から学ぶ体制を作ることができた。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ①「ボランティアグループ「大きなかぶ La」による読書活動「読み聞かせ」「ちよつと豪華なお話会」
- ②学習ボランティアによる支援「夏野菜やチンゲン菜ハウス栽培の整備やノウハウ」「裁縫やミシン」「米作り」「音楽会のピアノ伴奏」
- ③地域の方、PTAの協力による「町探検」「地域めぐり」「漁港体験」
- ④学区地域教育協議会、体育振興会、PTAの協力による「くりみフェスタ」開催



【「大きなかぶ La」による読み聞かせ】

■ 事業の成果・展望

たくさんの方々との関わりを大切にしながら、学習活動を行ったことで、「人」から学ぶ場を作ることができた。また、学習活動が魅力的なものになり、より深く学ぶことができた。

総合的な学習の時間や生活科の野菜作り、音楽会などの学習では、専門的な知識を教えていただくことで、子どもたちが興味をもって学習することができた。学校の環境整備の面でも、地域の方、PTAの方の協力のおかげできれいに整備することができている。

児童数の減少に伴い、PTAの会員数も減る中で地域の協力が必要不可欠になってくる。だからこそ、地域との連携を図りながらよりよい教育を目指していきたい。



【米作り体験】

■ その他

全校児童が少ないので、来年度も地域の力をお借りして「つながり」を意識した教育活動を行っていきたい。そのために、学校運営協議会や地域連携担当教職員、学校ボランティアが互いに協力し合って、教育活動を進めていけるように組織づくりを行っていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学級担任、事務職員)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

蒲生の子は蒲生で守り育てよう。地域の教育力を結集し蒲生東小学校を支援しよう。

東近江市	活動名：蒲生東小学校地域学校協働本部	蒲生東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:平成 20 年度 地域学校協働活動活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:17人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(ボランティアグループ「三弓会」)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

令和4年度よりコミュニティ・スクールを導入し、各委員がそれぞれの分野で意見交流を行い、子どもたちにつけたい力について熟議を進めた。「人をつなぐ」「地域をつなぐ」ことに視点を当て、昨年度に続き「防災」を窓口に全校で防災教育に取り組んだ。指導は日本赤十字の方々、指導補助に地元蒲生支部の日赤奉仕団の方、また、児童と一緒に保護者の方も参加する授業参観形式で実施した。内容は発達段階に応じた内容で1・2年生、3・4年生、5年生、6年生に分かれて行った。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

「生活科」や「社会科」、「理科」、「総合的な学習の時間」などで、地域教材を生かしたり、体験活動をもとにして学んだりする活動などで、地域住民ならではのゲストティーチャーや学校支援・安全支援を実施している。

特に3年生の町たんけんなどでは、ボランティアグループ「三弓会」の方がそれぞれの地域ごとにゲストティーチャーを務め、子どもたちが学びを深め、地域への関心が高まるようなお話をしてくださり、魅力ある活動になっている。

9月に行った防災教育では、昨年度以上に地域の方に協力をいただき、児童とともに保護者の参加がありました。子どもを通じて、各家庭、地域へ広がりつつある活動になった。



【 6年生 防災教育(心肺蘇生&AED) 】

■ 事業の成果・展望

地域の方が専門性や技能を生かした支援や安全への配慮をさせていただき、豊かな学習活動を展開することができている。

また、地域住民が学校教育活動に関わることで、地域の絆が深まり、教育力が向上し、郷土愛を培うことにもつながっている。子どもたちはボランティアの専門的な知識がふれたり、多様な体験の機会を得られたりすることによって、学習意欲が喚起され、自ら問題を解決しようとする意欲を高めることができている。ボランティアとも顔なじみになり、親しみを感じながら安心して活動している。

子どもたちの学びを感じながら、蒲生東小学校の地域の資源や教育力を生かした特色ある教育活動の推進に寄与していることが、ボランティアの誇りであり、郷土愛を高めることにもなっている。

恒例となっている活動への支援については、参加されるボランティアは内容をしっかり把握して参加され、ボランティア会議で振り返りを行い、次年度への活動に生かすという流れができている。



【 3年生 まちたんけん 】

■ その他

平成 13 年度に発足したボランティア「三弓会」を母体に伝統的な支援を継続している。「できる人が、できるときに、できることを支援する」、「人から強制されるのではなく、自発的意思に基づいて行う」、「先生や子どもと一緒に活動し、学校をよりよくしていく活動にしよう」、「ボランティア自身の経験や専門性を活かそう」という考えを基本に、少しずつ支援の輪を広げながら活動を続けている。今年度も学校の方針どおり、子どもたちの体験活動を実施すべく、支援を続けてきた。

毎月定例のボランティア会議では、学校から提案された支援計画をもとにして、参加者等を決めている。実施した活動について反省を出し合っている。また、2~3か月先を見通して参加者を募っている。今年度は高学年の裁縫の授業などで、日赤奉仕団の方にもご協力いただき、何度も支援していただいた。地域のよさを感じながらつくり上げられてきた本校の学習活動を継承するため、新しいボランティアの参加や育成、ボランティアに求められる新たなニーズへの対応が課題となっている。毎月のボランティア会議への参加は難しいが、できるところで支援をしたいという方がおられると考える。広くボランティアを募集できるシステムづくりを構築していきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(校長)

蒲生の子は蒲生で守り育てよう

東近江市	活動名：蒲生西小学校地域学校協働本部	蒲生西小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：43人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域学校協働本部事業での主な協議内容と活動への反映

- (1)「蒲生の子は蒲生で守り育てよう」というキャッチフレーズのもと、児童は地域の一人であることを念頭に、学校からの要請を受けて活動している。児童の下校時には、各地区の方々により「下校見守り」を継続的に実施している。
- (2)「田んぼの学校」や「総合的な学習の時間」の取組では、学校支援ボランティアに協力してもらい学習指導をおこなっている。また、地域の特性に応じたゲストティーチャーを招き、地域から学ぶゲストティーチャー授業をおこない、「ふるさと蒲生」を意識していく地域学習の場としている。このことで地域の教育力も高められている。
- (3)地域の方々の経験や専門的な知識・技能を活用する場を広げ、子どもたちとのふれあいを通じた地域社会全体の教育力の向上を構築し、地域の活性化に結び付ける。学校支援ボランティア、子ども、学校すべてが WinWin な関係でいられるように意識して取り組む。



【 2年 冬野菜植え 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・1年生の生活科「昔あそびを楽しもう」では、地域の老人会の方に来ていただき、おはじきや羽根つきなど昔あそびを教えていただきながら、一緒に遊ぶ時間を設けた。祖父母世代の方に教えていただいたり一緒に遊んだりすることで、柔らかな表情で取り組む様子が多く見られた。
- ・2年生の生活科「野菜を育てよう」では、野菜栽培に詳しい学校支援ボランティアさんに一年を通じて指導・助言をいただきながら学習活動を進めた。また収穫したさつまいもをボランティアと一緒に味わう「お芋パーティー」を計画、招待、実施した。感謝の気持ちを直接伝えられ、子どもたちとボランティアとのつながりを深めることができた。
- ・3年生では地域学習として、町探検に出かけた。各地域の特色ある取組や施設について学校支援ボランティアに案内・説明していただくことで、地域の知らなかった一面をより身近に感じることができた。
- ・4年生では、地域学習の一環として森林学習を行った。地域にある手入れの行き届いた里山や保全活動の様子を実際に見学したり、活動されている方の思いを聞いたりすることで、改めて、地域の森林を守る活動の存在を知ると共に、森林の役割や健全な森林を守ることの意義を深く受け留める学習になった。
- ・5年生では田植え・稲刈りでお世話になった方、エプロン作りでお世話になった方などを招待し、「収穫感謝祭」を実施した。2学期の総合的な学習で農業を取り扱ったことから、それらに関する学習発表をおこなったり、家庭科で製作したエプロンを身につけて収穫したお米を使って一緒におにぎりを作って食したりする等、学習活動を支えてくださった方に学習の成果と感謝の気持ちを伝えることができた。
- ・6年生では、総合的な学習「蒲生の未来を考える」の中で、自分たちが住む蒲生の魅力と課題について考え、各グループのテーマごとに「よりよい蒲生とは」「みんなが住みたくなる町づくりとは」を追求した町づくり計画案を練り、学校支援ボランティアの方や地域まちづくり協議会の方、支所長などを招き提案発表を行った。

■ 事業の成果・展望

- ・地域の学習を通して、地域理解が深まるとともに、「自分が住む蒲生を大切にしたい」という思いが育まれてきている。
- ・地域にいらっしゃる「地域のプロフェッショナル」の方(野菜栽培、ガリ版、里山保全活動、日野川など)と直接関わることで、地域の魅力を大きく感じられる貴重な場になっている。
- ・ボランティアの方の高齢化や脱退は大きな課題である。年間継続して参加していただける方を募集し続けるとともに、地域にもある学校として、もっと気軽に学校へ来ていただける機会としての単発ボランティアも併せて募集をしていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)

地域の文化・歴史・人を知り、ふるさとをもっと好きになろう

東近江市	活動名：蒲生北小学校地域学校協働本部	蒲生北小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 20 年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務1人) ボランティア登録数:60 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

今年度で5年目となる本校の学校運営協議会。今年度は、実動を見据えた熟議を行い、来年度以降の活動につなげていきたいと考えている。ただ、地域の特徴もあり、ボランティアを要請することは難しく、なかなか人も集まらないのが現状で、そのため、学校運営協議会のメンバーと実働部隊がほぼ同じなのが実状である。

それでも、「花いっぱいプロジェクト」と題して、有志の子どもたちといっしょにひまわりを植えたり、「ふるさと発見展示」と題して、今年度は、近江商人博物館より紹介パネル等をお借りして、「近江商人について」コラボ展示を行ったりするなど、子どもたちの情操教育を育てている。

来年度以降も、環境ボランティアグループを募り、花だけでなく、除草活動などの環境整備についても、常時活動として進めたいと考えている。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動

6年生の子どもたちが、総合的な学習の中で「自分たちの住む地域の危険なところや災害に繋がるところはないか」を調べるために、地区探検を行った。実際に起こった災害時の話や登下校で気を付けるところ、消火栓の場所などを地域の方々を教えてもらいながら、いっしょに巡回した。

学習のまとめでは、地域の方々に聞いたことを思い出しながら、自分に割り当てられた地区についての防災マップを作成した。また、それらを全校児童に見てもらえるように、1階の廊下に掲示し、啓発を行った。



【 地域の方からの説明 】

■ 事業の成果・展望

いつも何気なく歩いていた通学路の風景だが、実際、地域の方々といっしょに巡回することにより、危険なことや災害が起きた時のことをより具体的に想像することができた。

子どもたちからは、「こんなところに危ない場所があったのか…」、「ここに消火栓があるんやなあ」などの声が挙がり、この学習で得た知識が、身近に起きる災害や事故などに役立つと気づいた子どもも多かった。何か起きた時に、自分たちにもできる役割があると思ってほしい。

とても暑い中での実施だったが、地域の方々の協力により、より生きた防災学習を進めることができた。

いつ災害が起こってもおかしくない今、避難所等、地域の方々とのつながりはとても大切だと考えている。子どもたちと地域の方々が顔見知りになれたという点だけでも、今回の学習は、地域との関係づくりにも、大きな成果があった。



【 6年生 学習のまとめ 】

■ その他

あと数年後に、開校 30 周年を迎えるため、その取組についても熟議を始めている。地域の方々を巻き込み、地域にとって大切な学校と思ってもらえるように、地域と子どもを関わらせるという仕掛けづくりをこれからも考えていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)

『地域と繋ごう！プロジェクト』～文化活動などの継承を通して～

東近江市	活動名：玉園中学校地域学校協働本部	玉園中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：6人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

①今年度も合唱コンクールの中のステージ発表の一幕に、有志による和太鼓演奏の発表の場を設けた。この活動は、地域のコミュニティセンターの活動の一つとして取り組まれている和太鼓演奏を、その指導者でもある本校の協働活動推進員が、中学生にもぜひ経験して欲しいという思いからスタートしたものである。以前には、この体験をきっかけにして、その後コミュニティセンターの活動に参加し始めて、継続し、OBとして後輩の中学生の指導にあたった経験を持つボランティアの方も居られる。有志の参加希望者は、本番の2週間前から練習をスタートし、毎日の合唱の取組の後、一定の時間を保障して活動を積み重ねた。練習の指導は、協働活動推進員と委員が推薦したボランティアの指導者が分担をして熱心に行っていた。自主的に集まった生徒の有志18名は、和太鼓の敲き方から、見栄えのする動き、声のかけ方、発生の仕方まで指導をしていただいた。2週間で10回の短期集中の練習だったこともあり、教える側も学ぶ側も、双方練習に熱が入り、練習する子どもたちの表情も真剣そのものだった。その甲斐あって、当日は見事な演奏を行うことができ、会場で鑑賞した仲間たちに感動を与えた。



【熱のこもった指導に、生徒も集中！】

②部活動(ソフトテニス)の指導において、地域の方から専門的な技術指導をしていただいている。

③第2学年において、来年度4月に修学旅行で訪れる広島から、『ヒロシマ平和ガイドクラブ』の代表の方と、スタッフとして当日現地でガイドとしてお世話になる学生ボランティアを招き、事前平和学習を2月に実施した。

④図書館司書の方の働きかけで、地域の方に呼び掛けて『読み聞かせボランティア』を募ったところ、2学期から3、4名の方に協力をいただき、学年ごとに朝の読書タイムに読み聞かせを行ってもらっている。

■ 事業の成果・展望

○和太鼓演奏については、協働活動推進員や協力いただいた和太鼓グループやOB、学生ボランティアによる計画的な取組により、参加者は、意欲的で集中的な練習を行い、ステージ発表まで仕上げることができた。参加した有志の生徒たちは、練習の回を重ねるごとに、自信と意欲にあふれ、生き活きとした活動ができるようになった。地域とのつながりを実感できる取組だった。

昨年度、この取組への希望者が減ったことから、今年度以降も実施を継続するかどうか、校内の実行委員会でも協議したが、地域の伝統文化である和太鼓演奏の取組の継承とつながりづくりの意味合いで、今年度もう少し様子を見ることとなった。そうしたところ、昨年度の経験者を媒介となって、興味を持つ生徒があり、希望者が倍増し、継続して様子を見ていく方向となった。ただ、少しずつ地域に残っている和太鼓経験者や人材が少なくなってきたり、指導していただくスタッフは今後も苦慮される可能性がある。



【和太鼓演奏ステージ発表】

○部活動指導においては、生徒が専門的な技能指導を受けることによって、生徒の健全育成に大いに役立っている。

○学校での読書活動、学習活動などの諸活動を地域の方に見ていただく良い機会となった。

■ その他(今後に向けての課題)

○和太鼓の取組は、生徒自身が自主的に取り組みたいと思える活動で、地域文化の継承・地域の方との交流という意味でも継続・発展していくことに意義はあるが、地域に残る指導者の継承や育成には課題がある。

○地域学校協働活動推進員の方も高齢で、和太鼓指導の体制の継続やコーディネーター、学校の要望に沿った協働活動を協議するコーディネーターの後継者の橋渡ししがなかなか難しい状況にある。

○中学生が自主的に地域のことを学んだり、地域と結びついたりする協働活動が展開できるアイデアを模索したい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(学年主任、和太鼓取組担当教職員)

報告書記入者(校長)

学校と地域が一体となって推進する学校づくり (Ver. 2025)

東近江市	活動名：聖徳中学校地域学校協働本部	聖徳中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:16 人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(各地区コミセンなど)

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

【継続しての活動】

- ①図書ボランティアによる読み語りを各学年で定期的実施していただいた。
- ②挨拶運動や下校見守り活動に参加していただいた。
- ③部活動支援は継続的にしていただいている。
- ④コミセンで行われるイベントに生徒がボランティアとして参加した。
- ⑤職場体験学習、福祉体験学習、安全教育、健康・性教育等を「総合的な学習の時間」において、地域の資源(人・もの・施設)を活かして実施した。
- ⑥生徒会役員が「中学生と大人のしゃべり場」に参加し、地域の方々と交流した。



【読み語りボランティア】

■ 事業の成果・展望(上記①②③④および⑥について)

- ①長年にわたって行われている読み語りは、生徒の中にも定着しており、その効果は大きい。生徒の読書活動の一翼を担ってくださっている。落ち着いた一日の生活が始められ、また継続して見守られている安心感にもつながっている。
- ②学校の現状、生徒の様子を地域の方々を知っていただける機会となり、協力もお願いしやすい。かつての荒れた時期を知っておられるために、学校職員以外の視点での気づきや感想を得ることができ、学校経営に反映できている。
- ③部活の地域接続の観点から、教職員以外の方の指導や助言は一定の重みをもっており、生徒の多様な学びにもなっている。
- ④地域の方々に日頃の頑張りを発表し、褒めていただける機会は、生徒の自尊感情を高めることにも繋がっている。保護者や家族以外の方からの肯定的な言葉は、「やる気」を引き出す大きな力である。
- ⑥世代間交流をする中で、お互いの考えを知る機会となっている。継続事業のため、年配の方々に中学生の思いや地域への要望などを気軽に伝える貴重な場として中学生は認識している。



【吹奏楽部 里親知ってやフェス】

■ その他(実施に当たっての工夫や課題など)

- ◇保護者、地域、関係機関へ参観などの機会を増やすことにより、学校の現状を知らせることができ、また生徒には大人に見守られている安心感が生まれ、落ち着いた学校生活を送れる一因となった。
- ◇読み語りや挨拶運動、下校見守り活動は年間計画の中に組み入れて実施した。
- ◇学校の情報と地域の情報を交流し、打合せを行った。
- ◇不定期ではあるが、コーディネーターとの話し合いの中で、学校の困っていること、地域が学校に望んでいることを交流した。
- ◆今後、活動を広げるには地域の人材を発掘することが課題である。(市教委生涯学習課の一層の支援をお願いしたい。)
- ◆特に部活動数の多い本校にとっては、地域接続に伴う人材の発掘が課題。(部活区域外通学許可に対応する指導者の紹介と派遣をお願いしたい。)
- ◆中学生と地域が関わる場を作るための日程調整が難しい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(聖徳中学校地域学校協働本部長)

地域とつながり 地域で育つ 大人も子どもも笑顔あふれる船岡校区

東近江市	活動名：船岡中学校地域学校協働本部	船岡中学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成24年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(兼務1人) ボランティア登録数:5人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

(1)地域行事への参加

・校区内に2つのコミュニティセンターがあり、年間を通して様々な取組をされている。お祭りや夏休みの小学生対象の学習会等で、中学生が運営側のスタッフとして取り組めるように企画され、ボランティアスタッフを募集すると多くの生徒が参加を希望し、小学生に勉強を教えたり、大人に混じって地域の行事で活動するなどしたりして、力を発揮することができている。



【 ボランティアスタッフとして 】

(2)民生委員・児童委員と生徒会役員の懇談会

・毎年、校区内の民生委員・児童委員のみなさんと生徒会役員の懇談会を3学期に開催。民生委員・児童委員が地域で行っている取組を紹介されたり、生徒会役員が自分たちの地域に対する思いや地域に対してできそうなことを意見交流したりしている。昨年度は、地域の一人暮らしの高齢者に月に1回手作りお弁当を配布されていると聞き、中学生でもできることをしたいと考え、ボランティア委員会で「メッセージカード」を書いてお弁当に添えていただく運びとなった。

■ 事業の成果・展望

- ・生徒は自己有用感や自己効力感を醸成することができている。
- ・地域において顔の見える関係をつくることで、生徒と地域のみなさんがつながり、地域と学校がともに生徒を見守る存在となっている。



【 吹奏楽部に演奏依頼 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(部活動顧問)

報告書記入者(教頭)

地域と学校が協働し、自然豊かな環境の整備を通して、持続可能な環境づくりを推進する。

東近江市	活動名：永源寺中学校地域学校協働本部	永源寺中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：2人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

地域学習の講師招聘

・地域の名刹である大本山永源寺より講師として宗務総長の横山玄秀氏を招聘し、永源寺の成り立ちや地域社会とのつながり等を題材として、地域学習講座を実施した。大本山永源寺の歴史を通して現代と昔の人々の暮らしについて対比しながら、改めて地域のよさについて考えることができた。



【 通学路の除草作業 】

校地内環境整備

・広大な校地内の、特に梅林周辺の除草作業について困っていたところ、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の働きかけで、ボランティアによる除草作業を実現していただいた。
 ・毎年、校庭の高木やアジサイ園の選定と除草作業が必要になるが、教職員には危険で手に余るという課題があったが、地域コーディネーターが地域の会合で毎年呼びかけをしてくださるおかげで、地域の方がボランティアで除草に来てくださり、とても助かっている。また、地域の方で、長年自主的に校地まわりの除草作業をしてくださる方がおられ、地域の支援の温かさを感じている。

地域行事への中学生の参加

・地域の文化祭「ふるさとまつり」に中学生が参加し、ブースでの体験活動を行った。また、青少年育成大会では、作文発表会等の司会を務めた。生徒会役員として経験を積むとともに、生徒の活動を地域の方に知っていただく機会となった。

■ 事業の成果・展望

・教職員のみでは技術的に困難なこともボランティアの力をお借りしてでき、茂りすぎた枝や立ち枯れた危険な木を伐採していただき、風通しが良く明るい雰囲気の景観を維持できている。
 ・地域コーディネーターが地域の会合などで学校の困りごとを発信していただき、学校には常に地域の方からの応援の声が届いている。学校から気軽に発信でき、それに応えていただける店がたいへんありがたく、こうした成果が、生徒が元気に挨拶できるなど、地域の大人への信頼感につながっている。



【 地域学習講座 】

■ その他

・校舎新築・大規模改修により教育環境が改善されたが、一方では校地内の木が大きくなりすぎて落葉や落木による安全面の不安など、学校環境への影響が出ている。また周辺の除草・剪定等の環境整備が手に負えない状況にあることから、今後も地域ボランティアの協力を得ながら、環境整備を継続する必要があるが、作業ができる方の高齢化や現役年齢の延長等が進んでおり、人材確保が難しくなっている。
 ・生徒数の減少により教職員の数も減り続けることから、PTA活動の在り方等も踏まえ、持続可能な環境づくりを考えていかなければならない。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(校長)

自分よし みんなよし 未来よしでつむぐ地域との連携（五個荘中学校）

東近江市	活動名：五個荘中学校地域学校協働本部	五個荘中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：16人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(青少年育成市民会議)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

学校運営協議会が発足して3年目を迎えた今年度は、いよいよ学校での活動を具体的に進めるために、以下内容(「つながるよさ」を生み出した活動、その他で記載の「生徒の健康」)について、協議を進めた。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ①5月30日に学校運営協議会・PTA・青少年育成市民会議の皆さんにも支援していただき、体育祭を前にグラウンドを安心安全に使用するために全校で除草作業を実施した。
- ②7月10日に生徒に伝統的な和楽器の演奏を聞かせてあげたいという、青少年育成市民会議五個荘支部の方々の思いが実現して、芸術鑑賞会を開催していただき、迫力ある演奏を直に鑑賞する貴重な機会となった。
- ③11月7日の授業公開日に合わせて学校運営協議会の皆さんにより、保護者の皆さんが子育てについて気軽に話ができるスペース「親カフェ」を企画運営していただいた。また、「親カフェ」をするにあたって、地域の行事「ぶらっと五個荘まち歩き」に出店し、活動の紹介や活動資金の調達をする取組をし、地域の方々にも学校運営協議会の存在を知らせることができた。



【芸術鑑賞会】

■ 事業の成果・展望

- ・学校運営協議会・PTA・青少年育成市民会議の皆さんに支援していただき、生徒も地域の方々を支えていただいていることを実感しながら除草作業に励むことができた。
- ・青少年育成市民会議の方々が地元の中学生に本物の芸術を味わわせてあげたいという思いから実現した活動で、生徒たちも伝統的な和楽器に直接触れることができ、充実したひと時を過ごした。
- ・「親カフェ」開催当日は保護者も数名参加され、ほっこりされている様子も見られた。「親カフェ」の隣には、体操服等のおゆずり会のスペースも設けられた。初回ということもあったため、徐々に「親カフェ」の話題が広がることを期待している。
- ・学校の教育活動において、生徒が地域とつながりながら取り組む活動は、大変意義深いものと考えている。今後も、生徒にとってより有意義な学びとなるよう内容を精査し、充実を図りながら継続していきたい。



【親カフェ】

■ その他

五個荘中学校学校運営協議会での実践として、学校保健委員会に学校運営協議会の方々や生徒が参加し、「生徒の健康」について語り合う機会を設けた。今年度は参加した保健委員会の生徒が文化祭においてアンケート結果を発表し、全校への周知につなげることができた。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(主幹教諭)

報告書記入者(教頭)

地域とともに、ふるさと愛東が好きな愛東中生に育てよう！

東近江市	活動名：愛東中学校地域学校協働本部	愛東中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：0人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援、図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・地域コーディネーターの声かけで、地域の方々による雄飛園の剪定を実施。
- ・地域の協力により、学生カフェ「FIKA」を開店。
- ・「総合的な学習の時間」において、地域の人、もの、事業所、施設を活かし、環境学習、平和学習、職場体験学習、福祉体験学習を実施。
- ・民生委員・児童委員や地域の方々による授業参観及び学校行事の参観。
- ・家庭科の授業で幼稚園での保育実習を実施。
- ・コミセンの呼びかけによるごみ拾いボランティア(答志島&愛東地区)に参加。
- ・民生委員児童委員の下校時の見守り活動の実施。



【 学生カフェ「FIKA」 】

■ 事業の成果・展望

- ・民生委員・児童委員や地域の方々に生徒の学校での様子を見ていただく機会を設けるとともに、授業内容や学校の取組への理解を深めていただくことができた。その結果、学校教育への関心や信頼の醸成につながっている。
- ・校内には雄飛園(庭園)があり、樹木の剪定や維持管理には専門的な知識や技術が求められることから、学校やPTA活動だけでは十分に対応することが難しい状況である。そのため、毎年地域から専門的な技術を有する方々の協力を得て剪定等を実施することができ、安全で美しい教育環境を整えることができています。
- ・生徒も地域の一人としてボランティア活動に参加し、地域を支える取組の意義や役割について実践を通して学ぶことができた。地域の中で実際に役割を担い、感謝や励ましの言葉を受ける経験は、自分が地域に必要とされている存在であるという実感につながっている。今後もこうした経験を積み重ねることで、地域の中で主体的に活躍しようとする意欲や自尊感情の醸成が一層期待される。
- ・学校だより等による情報発信と共に、地域コーディネーターと連携して部活動指導やゲストティーチャー等に携わる地域人材の発掘・活用を進めていく。地域の専門性を生かすことで、教育活動の一層の充実につなげたい。



【 雄飛園の剪定 】

■ その他

- ・生徒の活動の様子は、学校だよりと愛東中学校ホームページ、情報通信アプリ「コードモン」で発信している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(校長)

湖東を愛する生徒の育成と地域とともに歩む学校づくりをめざして

東近江市	活動名：湖東中学校地域学校協働本部	湖東中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(兼務1人) ボランティア登録数:16 人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

①絵本の読み語り

月1回、学年・学級別にボランティアによる絵本の読み語りを実施している。

②あいさつ運動(登校見守り)

湖東支所、青少年育成市民会議、補導員会、民生委員・児童委員、コミュニティセンター等との連携により、定期的に朝のあいさつ運動を実施している。

③協働活動リーダーによる部活指導

バスケットボール部において、地域の地域学校協働活動推進員のリーダーによる技術指導をしていただいている。

④学校環境整備

PTA による年2回の除草作業に加え、地域の方がボランティアで除草や剪定作業をしていただいている。

⑤地域行事への参加

地域主催の行事に生徒会や部活動で参加したり、中学生スタッフとして活動したりしている。

⑥郷土学習

小学校との連携により、継続した取組を進めるとともに、地域への思いを深める取組を行っている。



【 郷土学習 】

■ 事業の成果・展望

・絵本の読み語りでは、生徒が集中して取り組む姿が見られ、一日の学校生活の始まりの時間として、落ち着いた雰囲気づくりができた。

・地域学習では校区内の小学校との連携により、継続した取組をおこない、地域を愛する生徒の育成に向けて貴重な学びの機会となっている。

・地域人材を活用した協働活動リーダーによる指導により、部活動における技術向上に成果が見られる。

・地域行事への参加により、地域の方に中学生の活躍している姿をみていただくことができ、学校への理解も深まっている。

・あいさつ運動の取組には多くの地域の方が参加していただき、地域の子は地域で育てるという理念に基づいた取組が定着しつつある。

※湖東地域には、子どもたちの健全育成に関わる多様な団体や組織が充実しており、日頃から学校と密接に連携している。現在、湖東中学校の育成に関わる関係団体と学校との連携をさらに強化するため、合同会議の実施等について継続的に重ねているところである。学校運営協議会は設置していないものの、こうした協議と実践を通してそれぞれの立場や思いを共有し、地域全体で子どもを育てる体制は十分に機能しており、今後もその充実と発展を図っていきたい。



【 部活動支援員 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(校長)

学校を核とした地域づくり ～地域と学校の双方向の連携・協働へ～

東近江市	活動名：能登川中学校地域学校協働本部	能登川中学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:約 30～40 人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

今年度の第1回PTAの役員会議において、地域学校協働活動推進員の方が、ボランティア参加についての説明をしていただいたことで、例年より参加人数が増加した。これは短時間の参加やできる範囲での参加で OK としたことや参加していただいた方が、周りにも声掛けをしていただいたことで、増加したと感じている。参加者からは学校とつながりをもつことの大切さが実感できたという感想をいただいた。



【 学校周辺環境整備 】

このような活動以外の時間にも、自主的に校地内の作業に来ていただける方も出てきていることから、地域と学校のつながりが深まってきていると感じている。

また、学校行事においては入学式や体育祭・文化祭において駐車場の誘導等を行っていただいた。教職員が不足している中で、支援していただけることはとても助かっている。

■ 事業の成果・展望

昨年度よりも多くの方にボランティア活動に参加していただいた。現在の主な活動としては、校地内の草刈りや剪定作業をしていただいている。学校の環境整備で貢献していただいたことが一番の成果だと考えている。また、行事ごとの支援においても、教職員不足の中でたいへん助かっている。



【 学校周辺環境整備 】

今後はボランティアと生徒と一緒に活動する機会を設けたり、ボランティアに感謝の気持ちを伝える機会を設定したりすることで、学校の環境はこのような活動によって支えられているのだということを実感させることも狙っていきたい。

■ その他

今年度活動していただく中で、事業内容について工夫をしていけるとよい、と感じる部分があった。現在は、校舎外を中心に作業を行っていただいているが、外の作業は、時期により熱中症などの心配もあることから、校舎内での活動を生徒と一緒にしていけないか、今後、地域学校協働活動推進員の方やボランティアと協議を進め、より一層、地域と学校のつながりを深めいきたい。

また、様々な人がボランティア活動に参加していただいている状況であるが、高齢化が進んでいることは否めない。推進員を支えていただけるような人、ボランティア活動に携わっていただける方の発掘にも力をいれていくことが今後の活動にも大事になってくるのではないかと考えている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(教頭)

地域の力で心豊かにたくましく育まれる蒲生の子どもたち

東近江市	活動名：朝桜中学校地域学校協働本部	朝桜中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：4人(兼務1人) <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・コミュニティ・スクール導入初年度でもあり、手探りの状況ではあったが、今年度の取組を基盤とし来年度につなげていきたい。

(協議内容)

- ①生徒の地域における活躍の場の創出や居場所づくりについて
- ②放課後の居場所づくりについて



【 剣道部の指導の様子 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○部活動支援

・協働活動リーダーに來校いただき、剣道部、サッカー、バスケットボール部の技術指導をしていただいた。

○ボランティア・体験活動

・地域(青少年市民会議や補導員等)の方と生徒・教職員による清掃活動を、地域コーディネーターの支援をいただき行うことができました。

■ 事業の成果・展望

・優れた指導により、専門性を生かした指導と練習メニューの作成補助、顧問のサポートをうけ、技術面はもとより、精神面においても生徒の能力が向上した。部活動顧問と部活動支援員との情報共有を重視し、活動を進めることができた。

・能力が向上することで、部員一人一人に自信が芽生えた。指導の時間がさらに確保できることが望ましい。

・働き方改革を踏まえて、さらに多くの部活動において同様の指導が実施されることを期待したい。

・部活動のよりよい在り方を、地域・支援員・学校で継続して検討していく必要がある。

・地域コーディネーターの働きによって円滑に、地域と連携した取組を進めることができた。地域への社会貢献活動を行うことができた。

・地域コーディネーターには、様々な課題や今後の活動について指導や助言及びご協力をいただいた。



【 ボランティア活動の様子 】

■ その他

地域ボランティア活動(駅舎清掃)について

・生徒会委員会活動とも連携し、生徒主体のボランティア活動に取り組むことができた。

・駅舎をきれいにする活動を通じて、地域を美しくしようという心を養うとともに、環境について考える良い機会となっている。また、地域の方たちと協働し、郷土の自然や生活、文化に目を向けるきっかけとすることもできた。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(部活動顧問・生徒会委員会担当教職員)

報告書記入者(教頭)